

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	取り組めていない	独自の理念全職員で検討していく
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に掲げ、誰もが見て認識できるようしてある	職員が常に意識を持って日々取り組んでいく
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議も定期的に関き、家族とも連絡を密にして、地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の人たちとの交流をもっと広げていけるよう工夫をしていきたい。裏の畑利用の方とひたしくお話ししてもらっている。また、近隣のお寺より、光明寺の拝観の話していただいたりもできてる
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣のコンビニにの店員のかた、畑仕事をされている方と気軽に声を掛け合い、顔なじみになっている。近隣の保育所の行事にも参加させていただいている。また、近隣小学校の生活発表会も見学させてもらった	GH側より出て行くだけでなく、GHに遊びに来ていただけるような関係づくりも試みていきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(夏祭り等)に参加しており、当ホームの運営推進会議に民生委員など、地域の方々に参加していただいている。老人会等は、会費等発生したり、参加が難しい面もある。	世代間交流をもっと生活の中に取り入れて取り組んでいきたい、今まで行ってきた活動は継続していき、さらに参加等できることを増やしていきたい。来年度の小学校の運動会にいけるように働きかけしていく

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者のための取り組みは行えていない</p>		<p>今後地域と連携を深めていくなかで、地域貢献にもつながるよう活動していきたい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己の向上のため、評価を謙虚に受け止め活動している</p>		<p>評価を再認識し向上を図っていく、去年度よりも活動内容が増えた(小学校との交流、ボランティアの受け入れ)。今年度は事業所内新聞?案内?も作成中である</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の内容を議事録として全職員が閲覧できるようにしている。また、会議参加者、関係者には、資料等も配布している</p>		<p>議事録の閲覧、認識を深めていく</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>南区介護保険サービス事業者会議にも参加し、情報を得ている</p>		<p>市町村の催し等、参加の機会があれば積極的に参加していく</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で学ぶ機会があり、感想も見られるようにしている。わからないことは、管理者に確認している</p>		<p>ミーティング等で、研修の発表、確認を行っていく</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員が意識し、日々防止に努めている</p>		<p>外部、または組織内での研修等に参加し、理解を深めていきたい</p>

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書などの文書と口頭で説明を行なっている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に話しやすくなんでも語れるような雰囲気づくりを心がけている。重要事項説明書にも、国保連等外部の連絡先を記載し説明も行っている	意見、不満、苦情を聞き、文書にて表し運営に反映させている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1ヶ月に1回は金銭にかんし報告している、また金銭不足時に連絡もしており、家人に確認してもらっている。入居者の状態については、面会時・容態急変時等随時報告している。	職員の移動等、掲載可能な情報は今後作成予定・計画中の事業所内新聞・たより等で報告していこうと考えている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人側、GH側、公的機関の苦情窓口を説明文等に明示している。また口頭にも説明している。苦情は、処理報告書に記録し改善に努めている。玄関に投書箱を設置している	苦情BOXの設置、ISOのシステムにあわせた処理を行っている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	口頭、または連絡ノートで提案を出せるようにしている。面談も行なっている	常に意見を聞くようにしている、事業所所長またはGH統括が面談を行うこともある
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者が体調不良等で受診に行く際、スタッフ1名がHPへ付き添うため、勤務調整して、常に2人以上のスタッフが確保できている	職員が退職しても1F2Fとも、10名ずつの職員が確保できるよう人事に依頼する
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご家族、利用者になじみの職員による安心、信頼関係を築き、続けていけるよう職員間も居心地のよい空間づくりを心がけている	入居者さんが安心できるよう職員を定着していけるよう心がける、今年度は退職職員1名である。(去年度は5名)

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>組織内にて段階別に応じた研修を行ったり、今年度も京都市の認知症研修、管理者研修に参加してもらったりしている</p>	<p>研修後のレポート、資料を全スタッフが目を通し学んでいく</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>洛和会ないのGHで情報を共有したり、またGH間だけに限らず他部署とも協力している</p>	<p>同業者との交流を持つきっかけを働きかけていきたい、近くだと、久世西DS、また久世ホーム(特養)等</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>リフレッシュ休暇が1年に1回取得でき、1週間休むことが出来る。全職員、勤務調整し取得している。カウンセラーに相談することが出来るシステムも組織内にある</p>	<p>職員が相談したいときは、時間を作ってもらおう。月1回は5分でも面接を行なう。有給を使用し、心身のストレス軽減に努めていく</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年2回個別面談を行い職員の状況、希望等きいている。移動希望、取り組みたい勉強内容等話している</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前には、GH入居専門の相談員がアセスメントをとったり、また入居後もセンター方式を活用している</p>	<p>入居前に利用されてたサービスの内容を各サービスにきいたりしていく。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前の契約等で、家人宅を訪問したり、アセスメントを行っている</p>	<p>常に受け止められるような内部研修も考えていきたい</p>

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GH入居希望でお話をするため、また、家人も入居を希望されるケースがおおいため、他サービスの話はなりにくい		必要、希望に応じ特養申請も合わせてされるかたには、協力していく
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	無理のないように、本人さんのすきなようにされている姿を見守りながら、安心してサービスを受けていただくように努力している。家族とも連携をとりながら進めていく		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の可能な面(家事、掃除)を生かし、入居者本位で活動できるよう援助している		利用者の得意とすることを行なってもらい、職員の知らないことを教えてもらう
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に面会に来られたら、本人さんの様子等を伝えるようにしている。行事にも参加していただき楽しめるように工夫している		2ヶ月に1回くらい介護者の集いを企画したい。どんなことがGHで取り組まれているかを伝えていきたい。事業所内案内も活用し、報告していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	外出(行事等)には家族にも声をかけ、可能な限りいっしょに出かけ、有意義な時間をもってもらう		家人面会時に、日常の様子等伝えていき、家人からも話やすい関係にしていく。敬老会、外出行事に家人も参加してもらい、各入居者の日々の生活の様子を見てもらうようにしている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	過去の話聞いて賛同し、現在の生活につながりをもっていく		馴染みの人の面会、場所への外出を取り入れていく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	少し不安定なときに、側に顔なじみがおられると落ち着かれたり、一緒に手芸に取り組まれたり、洗濯物をもって行かれたりしている		各職員が日々の情報交換が必要である

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後は、HP、他施設(特養)等にいかれることが多く、関係の継続が難しい。現在3名の退去があったが、関係継続している家人入居者はない		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	いろいろな情報を集めて、その人の考えている思いや、希望を大事にしている。また、寄り添いながら、その人がどうしたかを常に考えている		家族との連携を大事にしたい、本人の意向が難しい場合家人に代弁等してもらえよう情報交換していく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、ご本人とのお話により、これまでの生活について把握に努めている		センター方式を作成し、現在までの生活について把握している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の生活リズムを守り、日々の状態観察、報告、相談を、口答、連絡ノートを用いて把握している		心身状態など変化があればその都度カンファレンスをしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月毎にカンファレンスし、ケアプラン作成している。体調変化等あれば、医師、看護師、家人に相談し、受診する等し、随時検討している		検討後ケアプラン変更、追加し、家人に報告している
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた場合は、内部でカンファレンスを持つようになっている。場合によっては家族も声をかけ、話し合いをもっている		本人に適したケアが出来ているか、常に把握し、気づきが出るよう心がける

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳細は個別記録に記入できている。特に重要な件は個人ノートにも記入し、スタッフ全員が共有し、再認識できるようにしている		1F2Fの共有ノートを活用していく。全職員が気づきや工夫等意見を出し合っていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	保育園、小学校の行事に参加している、離設があったときには、交番・警察署に連絡をとったり、1年に1回は消防を交えた避難訓練を実施している		民生委員の方を通じて地域の方々のボランティアを取り組んでいく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	GH入居で介護保険限度となるため、他サービスの利用はほとんどない		本人負担となるが、訪問マッサージ、歯科往診等されている方がおられる
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは運営推進会議にて連絡をとっている。また、南区事業者会議においても話をすることもある		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望で入居前の掛かりつけ医への受診されている方は3名。訪問看護日は、9名全員洛和会看護士に診察を受けている。丸田町HPと洛南HPに受診されている方は2名。内服変更、様子等報告している		かかりつけ医で受診されている方は、緊急で他HPへ受診される際は、内服、病気等正確に報告する

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>日々、症状を把握し、必要に応じ専門医に受診、相談をする。精神科受診が必要な方は、主治医と相談のうえ、家人とも協力しあい行っている(2名洛南HP受診)</p>	<p>医師や相談員に積極的に関わりをもって、適切なケアにつながるよう心がけていく</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>週に1回の訪問看護を受け、健康状態を報告、相談し、支援を受けている</p>	<p>特変や気がかりなことがあれば、電話で相談をしていく</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>サマリーを交換、情報を提供しあう、また入院中の方には、随時面会等いき、様子をうかがったりしている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>本人、家族の意向を尊重し、希望に添えるようとりくんでいく。見取りに関する指針もあり、入居時に説明も行っている。</p>	<p>定期的なカンファレンスを行なっている。医療機関からの情報を共有する</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>かかりつけ医の往診時以外でも対応について相談をする</p>	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>GHから、別の場所に移り変わるケースがない。もし、家に帰られたりする際には、十分情報交換を行っていく</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に職員が大事にしてはいるが、マイナス言葉かけや対応もあると思う	学習を通して自己の向上を目指す、プラスの言葉かけや対応が出来るように
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その方に合わせたコミュニケーションを大事にしている	その方に寄り添う気持ちを持ち続ける。その中で、信頼関係を築いていく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず、一人一人何がしたいか、何が楽しみなのかを把握していき、毎日楽しく、快適に過ごせるようにしていく	全入居者が毎日、希望通りは出来ないのも、出来る限り希望に添えるよう楽しく生活できるよう支援していく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容院での洗髪が好きな方は近所の美容院へ行かれる。本人の希望により、毛染めやカット等月1回の訪問美容ヘルパーをお願いしている	服が少ない方は家人に相談し、購入し喜ばれた。毎日の散髪にも気をつけていく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理好きな方はスタッフと一緒に料理をし、洗い物を進んでされる方はしてもらっている。食事中はTVを消し会話しながら、楽しく食事が出来ている。魚、肉嫌いな方はほかの物を提供している	いつも同じ方ではなく、米とぎ、盛り付け等、いろいろな方にしてもらっている。無理強いはいらない
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒーの砂糖の量、ヨーグルトは苦手、甘いもの好き、タバコ好き等、一人一人の状況に合わせて支援している	言葉かけし、少し砂糖の量を減らす等工夫もしている。つきに1回は体重測定して、体重増加の方は食事量等、検討必要

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人の排泄表を作ったり、気持ちよく排泄できるようにしている		トイレの間隔があいている方はトイレ誘導している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	16時17時19時半等、本人の希望にあわせて入浴してもらっている。入浴嫌いな方気持ちよく入れるよう言葉かけをしている。拒否が強い時は1週間入れないときもある		拒否が多い方は機嫌がよいときに言葉かけし、それでも拒否がある時は2人介助で入浴している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の希望により、ベットや布団対応している。就寝前に入浴される方や、マッサージ器を使用後入眠される方等おられる。室内温度調節も管理している		昼寝される方には、昼夜逆転にならないよう、カーテンを開ける、言葉かけをし、時間を伝える等している
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	茶道の先生だったり、踊り、和裁を習っていた農家だった等、一人一人の生活歴を生かし楽しく生活できるように支援している		何が楽しみなのか、何がしたいのかを把握して、支援していく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭を自己管理され、スタッフと一緒にタバコを買われる方もいる。「おやつを買いにいきたい」等希望があれば、スタッフと一緒に買いにいっている		小銭を自己管理されている方は1人で買い物に行かれることもあったが、付き添うようにしている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出時は入居者に言葉かけをし、希望に沿って散歩や買い物に行く。いけない日は、ベンチで外気浴している		外出できないときは庭の花に水遣りをしたり、外のベンチで外気浴し気分転換になっている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間の行事に組み込まれている。家族にも参加を促している。知人と近くの銭湯にいらしてもらっているかたもおられる。家人との外出、外泊は自由に促している。その都度、必要な情報を家人にお伝えしている		AMからでもいけるような人員確保がほしい(AMは日勤2人勤務であることがおおい)。工夫もしていきたい

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の気持ちを大事にし、電話も手紙も支援している		入居者の方がいつでも手紙のやり取りや電話が出来るようにしていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問していただいてよいことをお伝えしている。居室でゆっくり過ごしていただいたり、家人、友人も他入居者、スタッフとリビングで談話していただいたりしている		訪問したいと思っていただけるような取り組みも考えていきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH内において身体拘束はない。今後もする予定はない		言葉の拘束(気づかないうちに、言葉が乱雑になったり..)はあるので気をつけていく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠していない		離設があるため、所在確認をきちんとしていく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	帰宅願望、不穏時は特に見守りを強化し所在確認をしている		夜間、所在確認だけでなく、呼吸確認もしている。入浴時、自立で長湯される方は転倒等がないか確認必要
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険性のあるものに関しては、ご家族、職員間で相談、検討、安全性に配慮した取り組みをおこなっている。火気は消防法上GH管理とさせていただいている。		本人に承諾を得てライターを預かっている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のミーティングを行なった。注意事項は、介護日誌、個人ノート等に記入し、スタッフ一人一人が気をつけるようにし、意識を高めていく		誤嚥防止のため、薬チェック表を作成し3人の職員が薬確認をしている

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	GH職員は、普通救命講習を受けるなど緊急時の対応が出来るよう取り組んでいる。また、マニュアルも作成している		1年に数回、定期的にシュミレーションしていきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導による火災時の避難訓練をおこなっている		職員同士でもマニュアルにそって避難訓練している。また、増やして実践していきたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個別ケアプラン等で、入居者それぞれのリスク、現状等報告している		ミーティング等にも参加してもらえるよう働きかけをしていく
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	顔色、体熱感、活気等、常に観察し、体調変化時はバイタル測定し、報告、連絡、相談をしている。緊急時のマニュアルも用意している		管理日誌、個人ノートに記入し、詳細は介護日誌に記入し、情報を共有している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつ、何の薬を服薬しているのか、薬表を作成し全スタッフが、すぐに連絡できるようにしている。服薬変更があれば、毎日、日中と夜間の様子を記入し評価できるようにしている		安定剤の服用時間が変更になり、毎日、不穏、睡眠等、24時間シートに記入し観察している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	チェック表記入し、便秘時は医師、看護師、家族に相談し、また、便秘にならないように、飲食物の工夫や運動も心がけ、予防に努めている		野菜ジュースを朝食時にのんでもらったり、腹部マッサージ、腹圧をかける等もしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯の手入れは定期的に洗浄剤を使用している。歯科衛生士による、口腔内洗浄も行なっている		起床時、就寝前はほとんどのかたが歯磨きしているが、毎食後は出来ていない。今後食後も言葉かけしていく

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態等を全職員が把握するため、チェックシートを用い、また、栄養についても記録にて野菜が少ない等いつもバランスを考慮している		水分が少ない方は、色々なジュースを提供したり、吸い飲みで水分を促したり工夫し水分UPしていく
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあり、医師、看護師の指示も受け対応している。予防に対しても職員間の意識は高い		予防接種のほかに、手洗い、うがい施行し、トイレの掃除、消毒もしていく
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等は毎日消毒、殺菌している。食材の期限切れ、痛み具合に注意し、手洗いの励行に努めている		台所エプロン使用している。手洗いをしっかりしてから調理している。冷蔵庫内の掃除、賞味期限の確認必要
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	なだらかなスロープで歩きやすくなっている。GHの看板が出ている。駐車場も広がっている		近隣の方にこちらから挨拶していく。玄関の木や花が枯れていることが多く気をつけていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	TVを1日中つけず、季節のCDを流したり、季節の歌を入居者にオルガンで弾いてもらいみなどで唄ったりしている。リビングには、季節の花を生けている。照明も温かみがある		TV, CDの音量、スタッフの声の大きさにも気をつけていく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースで足を伸ばし、1人でゆっくり過ごしてもらい、TV前のソファやベランダのベンチで数人で談話できるスペースがある		ベランダにベンチを増やし、数人でゆっくり過ごせる場所ができた

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好みの装飾品をご家族の協力により配置されている、また必要に応じ居室環境の変更も行っている		居室内の準備は家人負担等協力を得る場面が多く、十分な説明、理解が得られるよう、入居者をしっかり代弁していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室は掃除の際、換気している。夜間温度調節は特に気をつけている		体温調節できない方もおられるので、室内の温度調節のほかに衣類の調整もしていく
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自由に歩き、自然に維持、向上するようにとりくんでいる。危険と感じたら職員同士で話し合いどうするか工夫している		常にこのままでいいのか、安全かを頭において考えて環境作りにとりくんでいきたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その方が出来ることをやっていただき、生活に張りがあるように自立できるよう工夫している		一人一人がやっておられる事が他入居者につながっていくような支援をしていきたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにベンチがあり、談話や喫煙場所になっている。庭で花や野菜を育てている		季節の植物を入居者と共に植えるところからはじめ、開花や収穫を楽しんでいる

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム久世(1階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年度、初めてボランティアの受け入れを行えた。地域の職員が声かけしてくれたため可能となった。今後も継続、かつ新たな受け入れを行っていけるよう活動していく。